

集団的自衛権の行使禁止

野田首相 憲法解釈の見直しに意欲

集団的自衛権とは、自国と密接な関係にある外国に対する武力攻撃を、自らは直接攻撃されていないにもかかわらず、実力で阻止する権利を指します。具体的には、米軍が攻撃されたとき自衛隊は、米軍と共に武力で反撃するという事です。

自民党内閣でも成しえなかったこと

これまで歴代の政府は「憲法第9条のもとでは集団的自衛権の行使は許されない」としてきましたが、野田首相はこの見解を踏み破り、憲法に真っ向から背く道を突き進もうとしています。

7月6日、野田首相が議長を務める国家戦略会議のフロンティア分科会が、集団的自衛権行使の容認を提言。これを受けて首相は「日本再建戦略の中に反映させたい」と応じ、さらに9日の衆院予算委員会での答弁でも「政府内の議論も詰めていきたい」と述べています。

すでに日米の軍事一体化が進行

現実にはすでに、集団自衛権の行使の前提となる日米軍事一体化が着々と進んでいます。例えば、数年前から航空自衛隊と米空軍との大規模な合同演習がアラスカで毎年実施されていますし、最近ではグアム島近くのテニアン島に、日米共同軍事訓練場を建設する計画が進められています。

米国は長年の戦争で深刻な財政赤字に陥り、海外の軍事基地の縮小・再編を余儀なくされています。それに伴う軍事的空白を埋めるため、日本の自衛隊に肩代わりさせることを検討している模様です。「そのカギが集団的自衛権の行使だ」と、ある自民党幹部がもらしているそうです。

もし集団的自衛権の行使がOKとなったら、どうなるでしょうか。日本は米国の戦争につき合っ、世界中に自衛隊を派兵することになるでしょう。当然、戦死者が出ますし、膨大な戦費が税金となって国民にのしかかります。日本を守るためではなく米国の戦争に、こんな犠牲や負担を日本国民は耐えられるでしょうか。

消費税増税・原発再稼働・TPPそして集団自衛権行使と、悪政の限りを尽くす野田内閣には一日も早く退場願います。

7月の署名行動

【カッコは前月】

	行動回数	署名数	累計署名
高蔵寺駅頭	15 (15)	28 (22)	7,854
スーパー前	1 (5)	5 (12)	2,384
その他	1 (0)	7 (0)	1,587
合計	17 (20)	40 (34)	11,825

7月は、梅雨でスーパー前の定例行動日が3回も中止となりました。そのため、行動回数は前月に比べて減少しましたが、署名数は増えました。

「その他」は、神領駅頭での憲法連絡会による9の日の共同行動で、署名数は革新懇集約分です。

カンパは、8人から本年最高額の3,210円が寄せられました。初めて外国人からカンパをいただきました。高蔵寺駅頭で、一見日本人のようなのに日本語をほとんどしゃべれない人が2人、別々に寄って来てカンパ箱にコインを入れてくれました。1人はブラジル人でしたが、もう1人の国籍は確かめられませんでした。

航空自衛隊小牧基地

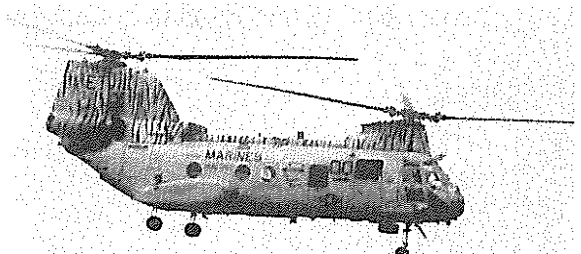
米軍ヘリが4機飛来

航空自衛隊小牧基地に7月13日、米海兵隊のヘリコプターCH46が4機飛来したのが目撃されました。燃料補給のためと見られています。

今話題のオスプレイはCH46の後継機と言われていますから、今後オスプレイが小牧基地に飛来する可能性が大きいと考えられます。

「県民本位の県営名古屋空港を求める会」は

26日、愛知県航空対策課に「米軍機の名古屋空港利用に反対」の申し入れをしました。



小牧基地から飛び立つ海兵隊ヘリ。赤塚一男氏撮影